

国学の大成者で且つ偉大なる国学者本居宣長翁及びその子孫に関する資料集。

# 宣長・鈴屋関係資料集

全七巻 中澤伸弘・宮崎和廣編・解説



宣長六十一歳自画自賛の肖像（鈴屋遺蹟保存会蔵）

クレス出版

国学の大成者で且つ偉大なる国学者、鈴屋本居宣長翁の業績は歿後に山室山に鎮まつたのち、二百年を閲した今日なほ学界に燦然と輝いてゐる。翁の学問は生前から刊行された幾多の著作を通じて、「古学」といふ新しい学問として博く江湖に迎へられ、松坂の居宅のその門を叩き名簿を捧げる者もあまたあつた。亡き後も翁を慕ひつつ、山室山に杖を曳く者またあとを絶たない。翁の学問は本居家の家学として伝へられて、明治の御代に吉川版の全集が刊行されて以来、昭和の初めまた戦後の筑摩の全集に完結されるまで、この方面の多くの研究者を裨益してきた。

また、翁に関するさまざまな研究も、明治以降今日なほ盛んであり、その深化も期待される状況である。宣長翁はまことに偉大でなつかしき存在であり、その著『古事記伝』一つをとつてみても、その生涯の殆どを費やした学者としての研究態度は、後人の追従を許さないのであり、この翁の学問を尊信した教へ子の裾野の広さが思はれてならない。「うひやまぶみ」を繕けばまた翁の教育者としての姿が浮かびあがつてくるのである。即ち、翁の古学の教へは翁一人の尽力もさることながら、本居家一族をはじめ多くの生前の門人は勿論のこと、歿後もその教へを尊ぶ、所謂歿後の門人達によつて継承深化され、形成されたと言ふ視点が重要となつてくるのである。

従来、国学の研究と称してきたものは、翁の思想、また翁に関する事どもを以てその研究対象となされてきたが、翁の学問を支へた全国に亘る、生前、歿後の門人達の営みについても視点を広げる必要があらう。近年は翁の門人の研究が盛んになりつつあるとはいへ、その横の繋がりは膨大な量となり、且つまた広範囲となつて容易にできるものではないのも事実である。

そこで本資料集は、翁の歿後における若山、松坂本居家を中心とした、翁及びその子孫に関係する資料を、東京大学本居文庫の貴重図書の幾つかを中心に纏め、全集に収められた著作とはまた別の視点から、翁及びその国学を支へた本居家、また門人の翁を追慕敬仰する営みに関するものを類従した。これにより翁のあとに養嗣子として学を継いだ大平、内遠、豊頼に至る若山本居家について、また松坂に残つた春庭の周辺やその子孫に関する、不明な点が些か明らかにされ、翁以降の本居国学についての研究に大いに役立つことと思はれるのである。

平成二十四年 初春

中澤 伸弘  
宮崎 和廣

十月二日大人の湯遺骸を飯沼山室といふ此  
山室山室の湯を飲むは心も清く身も軽くなる  
此湯の味は人々又けいけいといふものもある  
ひよこもひよこもひよこもひよこもひよこも  
人々もひよこもひよこもひよこもひよこも  
ひよこもひよこもひよこもひよこもひよこも  
ひよこもひよこもひよこもひよこもひよこも  
ひよこもひよこもひよこもひよこもひよこも  
ひよこもひよこもひよこもひよこもひよこも

本居宣長稿本全集

寛政九年 丁巳日記

正月 月大

本居宣長六十八歳

九四〇

朔、壬寅。至本月六日依殿御忌中、無年頭御禮。御家中松飭不致。當所御爲替組、其外大年寄、町年寄等宅、至マデ松飭不致。私禮亦不勤。

○七日、節分。今日於御城代衆宅御禮。御城御普請中。五半時也。其外屋敷町禮相勤。○八日、神參、町禮。○當年當町中、松飭并町家禮者如例年也。

○十六日、飛彈可據、四日市高尾九兵衛方約東定、今日贈來結納。○廿四日、飛彈引越、四日市。今日、一宿

長女飛驒再婚

○廿五日、着、四日市。婚禮媒者森伊右衛門也。同人并榮次郎同伴行、四日市。諸事別記。○卅日、小津彦兵衛死。五十歳。號住譽。

資料篇一

伝記と終焉の記

- 鈴屋翁略年譜 (静嘉堂文庫蔵)
- 鈴屋翁系譜略 (静嘉堂文庫蔵)
- 藤垣内翁略年譜 (本居文庫蔵)
- 後藤垣内年譜稿 (本居文庫蔵)
- 山むろ日記 (本居文庫蔵)
- 藤垣内翁終焉記 (本居文庫蔵)
- 内遠翁終焉の記 (本居文庫蔵)
- 春庭六十賀、宣長大平追慕歌集 (本居文庫蔵)
- 後藤垣内六十賀歌集 (本居文庫蔵)
- 後藤垣内六十賀歌集 (本居文庫蔵)
- 鈴屋大人追慕会歌 (本居文庫蔵)
- 大平翁追慕歌集 (本居文庫蔵)
- 平田篤胤家にて故翁靈を祭れる事 (本居文庫蔵)

蔵書目録

藤垣内蔵書目録 (本居文庫蔵)

資料篇二

宣長五十年、六十年行事関係

- 五十鈴川 (本居文庫蔵)
- 本居大人五十年祭祝詞 (本居文庫蔵)
- 鈴屋大人五十回靈祭歌 (本居文庫蔵)
- 鈴屋翁真蹟縮図 (本居文庫蔵)
- 落葉の錦 (本居文庫蔵)
- 本居大人遺墨展観録 草稿 (天理図書館蔵)
- 打聴蛙鶯集作者姓名録 (本居文庫蔵)

明治の山室山関係

- 山室山神社神遷行事録 (本居文庫蔵)
- 山室山神社奉納歌集 (本居文庫蔵)
- 鈴屋靈社祭祀文歌 (本居文庫蔵)

研究篇一

本居宣長稿本全集 第一輯

(本居清造著/大正11年/博文館)

研究篇二

本居宣長稿本全集 第二輯

(本居清造著/大正12年/博文館)

研究篇三

本居宣長翁全伝

(山田勘蔵著/昭和13年/四海書房)

本居宣長・春庭・大平・内遠年譜遺墨集

(本居清造編/昭和3年/吉川弘文館)

研究篇四

宣長と二人の女性

(足立巻一著/昭和18年/佃書房)

本居宣長の萬葉学

(大久保正著/昭和22年/大八洲出版)

研究篇五

鈴屋祭記念

(広島史神祭典会編/明治40年/広島史神祭典会)

本居宣長生誕満二百年記念特輯 一、二

(國學院雑誌/昭和5年5月、9月)

本居宣長・市川鶴鳴・沼田順義の学的論争に就いて

(弥富破摩雄著/昭和10年/青森県教育会)

古事記傳一之卷

○記ノ成キ始

故事レハス書史ト云ニ修撰レメ賜レ事ノ物ニ見エタル

ハマズ豊御食炊屋比賣命ノ廿八年ニ聖徳太子命蘇我馬

子大臣ト共ニ天皇記及國記臣連伴造國造百八十部元公

民等本記ヲ録レ賜フト書紀本事紀トハ日ニ有リ始ナル又

飛鳥浄御原宮ニ天下御ヒ天皇ノ十年ニ川島皇子等十二

人ニ大命詔テ帝紀及上古諸事ヲ記定シメ賜フトアリ然

本居宣長謹撰



# 宣長・鈴屋関係資料集 全七巻

中澤伸弘・宮崎和廣 編・解説

## 資料篇一

伝記と終焉の記、春庭六十賀・宣長大平追慕歌集、蔵書目録  
定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-644-8

## 資料篇二

宣長五十年・六十年行事関係、明治の山室山関係  
定価16,000円(税別) ISBN978-4-87733-645-5

## 研究篇一

本居宣長稿本全集 第一輯  
定価18,000円(税別) ISBN978-4-87733-646-2

## 研究篇二

本居宣長稿本全集 第二輯  
定価16,000円(税別) ISBN978-4-87733-647-9

## 研究篇三

本居宣長翁全伝、本居宣長・春庭・大平・内遠年譜遺墨集  
定価15,000円(税別) ISBN978-4-87733-648-6

## 研究篇四

宣長と二人の女性、本居宣長の萬葉学  
定価10,000円(税別) ISBN978-4-87733-649-3

## 研究篇五

鈴屋祭記念、本居宣長生誕満二百年記念特輯 一・二、  
本居宣長・市川鶴鳴・沼田順義の学的論争に就いて  
定価 8,000円(税別) ISBN978-4-87733-650-9

A5判/上製クロス装 平成24年4月末日刊行

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-651-6(セット) C3310

# 国学和学研究資料集成 全八巻

中澤伸弘・鈴木 亮 編・解説

- 第一巻 増補 三哲小伝、古学道統図、近世歌人略系、古学小伝
- 第二巻 国学の研究
- 第三巻 国学史の研究
- 第四巻 国語学史の研究
- 第五巻 近世国文学之研究、駿河古学小史
- 第六巻 浪華の歌人、近世文芸復興の精神
- 第七巻 近世に於ける神祇思想、神道思想とその研究者たち
- 第八巻 倭学戴恩日記、歌人書簡集、名家書翰集抄

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-430-7(セット)

# 古事記研究叢書 全六巻

三浦 佑之 監修・解説

- 第一巻 成立論と諸本解題 定価15,000円(税別) ISBN978-4-87733-616-5
- 第二巻 序と本文をめぐる偽書論 定価17,000円(税別) ISBN978-4-87733-617-2
- 第三巻 戦意高揚と古事記 定価17,000円(税別) ISBN978-4-87733-618-9
- 第四巻 古事記研究を拓く 定価18,000円(税別) ISBN978-4-87733-619-6
- 第五巻 民俗学的研究 定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-620-2
- 第六巻 古事記への眼差し 定価16,000円(税別) ISBN978-4-87733-621-9

揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-622-6(セット)